

旧石器ハテナ館だより

尖頭器



尖頭器とは、主に旧石器時代に使われた狩猟具です。

旧石器ハテナ館

〔 史跡田名向原遺跡
旧石器時代学習館 〕
神奈川県相模原市中央区
田名塩田3-23-11
TEL042-777-6371

令和元年12月1日

【第40号】



OPEN One day only
4/20 PM2:00~4:00

講師 安蒜政雄氏(明治大学名誉教授)

令和元年、旧石器ハテナ館は、開館10周年を迎えました。それを記念し、「旧石器イヤー」と位置付け、「旧石器」をキーワードにイベントを企画しています。その記念すべき第1弾「考古学カフェ」が4月20日に1日限定で開店いたしました。

講師に、田名向原遺跡に発掘当初より携わっていただいている明治大学名誉教授安蒜政雄さんをお招きし、先生自ら、展示の解説をしていただきました。

その後、実習室にてコーヒーを飲みながら、事前に募った質問を「日本列島の旧石器時代人」「生活」「集団」「田名向原遺跡の意義」の4つのテーマにわけ、お話しいただきました。「講演会よりも近い距離で」というコンセプトのカフェイベント。参加者から「気軽に質問ができて大変勉強になった。」「シリーズ化して欲しい。」など喜びの声を多くいただきました。

先生からは「話しているとコーヒーは、飲めないね。」とニコリ一言。「楽しかったね。」と更にニコリ。

先生と参加者そしてスタッフとても良い雰囲気が開店できました。



城山

相模野の西端。旧石器から中世にかけて豊富な遺跡が残る城山の歴史遺産を市立博物館中川学芸員の解説でめぐりました。

史跡川尻石器時代遺跡、古墳で知られる川尻八幡宮、約100基の春林横穴墓、平安時代の朱書土器が出土した苦久保遺跡、平安時代末期創建の宝泉寺、中世の山城と伝えられる小松城などを歩き、城山地域の歴史を改めて考える機会となりました。

【史跡川尻石器時代遺跡】



【苦久保遺跡】



文化財探訪
5/18

【小松城】



黒曜石の山をめざす氷期の狩猟採集民

古環境と黒曜石利用のダイナミクス

講師 島田和高氏(明治大学博物館学芸員)

講演会
7/27

長野県中部高地黒曜石原産地をフィールドとし、多方面から先史時代の黒曜石利用を指標とした人間と環境相互作用の解明を目指されている、明治大学博物館の島田和高さんにご講演いただきました。

寒冷な気候システムに支配されていた旧石器時代の狩猟採集民は、標高1,200~2,000mの原産地を目指し、黒曜石を獲得しました。近年得られた中部高地原産地の古環境変遷史と黒曜石利用の変動との関係についてお話しいただきました。末端の消費地である田名向原遺跡からは、150km離れた高原山やより標高の高い麦草峠産の黒曜石が出土しており遺跡の存在意義を考えるうえでも興味深いお話でした。



考古学史上初の発見と発掘

岩宿遺跡探訪

岩宿博物館

&

群馬県埋蔵文化財センター発掘情報館

探訪会 10/29
バスツアー

日本の旧石器時代の存在を明らかにした岩宿遺跡発掘から70周年。岩宿遺跡と群馬県埋蔵文化財センター発掘情報館に伺いました。

岩宿遺跡では、小菅館長にご案内いただき、岩宿発掘の契機となった黒曜石製石槍や発掘地点を見学し、70周年特別展では弥生時代の名前の起源となった弥生町遺跡の壺など貴重な資料を見学しました。昼食後の館長による石器製作では、大きな拍手が沸き起こりました。

群馬県埋蔵文化財センターでは、バックヤードも見学。「さすが群馬」と言いたくなる収蔵品の数々。旧石器時代から綿々と続く人々の暮らしを垣間見ることができる貴重な資料が展示されていました。中でも古墳時代の甲は、当時の様子が生々しく感じられるものでした。群馬の歴史を深く感じる1日となりました。



旧石器ハテナ館 まつり

9月14日(土)快晴の秋空の下、ハテナ館まつりを開催いたしました。過去最多、沢山の皆様にご来館いただきました。

土で作るアクセサリは、開始から30分で定員に達し大盛況。弓矢のコンテストは、白熱した試合が繰り広げられました。石蒸し料理体験は、肉から鮭に内容変更し、「美味しかったので家でも作りました。」と後日感想をいただきました。火起こし、古代服を着てみよう、古代の魚釣り、遺跡解説、クイズラリー、今年は、2020オリンピック・パラリンピックブースが出るなど、パワーアップしたハテナ館まつり。「楽しかった。」の声と笑顔があふれるおまつりとなりました。

ご来館のみなさま、ありがとうございました。



まだまだ間に合う ハテナ館イベントスケジュール

12月 12/15(日)
定例体験教室
「弓矢づくり」

弓矢を作って、的を狙ってみよう。うまく飛ぶかな？黒曜石の矢じりも作ります。

1月 1/19(日) 定例体験教室
「黒曜石で石器作り」



黒曜石の割れ方をマスターして、旧石器人が作ったような石器を作ってみませんか？

1/18(土)~3/21(土)
ホンモノってすごい！
「さがみはら石器図鑑」

ミニ展示

相模原市内から出土した石器の図鑑。これを見れば、石器マスターになれるかも？！



2月 2/8(土)、22(土)

連続講座「石器の実験痕跡研究」
講師：御堂島正さん
(大正大学文学部 教授)



3月

3/7(土) 講演会
講師：砂田佳弘さん
(かながわ考古学財団)

3/15(日) 定例体験教室
「編布作り」

編集後記

2009(平成21)年4月に開館したハテナ館は今年で満10歳になりました。講演会などの開館10周年記念事業を行う中で、考古学カフェや銅鏡づくりなどの新しい試みも実施しました。ハテナ館は、これからも果敢に挑戦していきます。

やせがわたんけん！

八瀬川探検！

神奈川県水産技術センター内水面試験場専門研究員、
すぐる
農学博士の勝呂尚之さんを講師にお迎えし、夏空の下、八瀬川探検に出発しました。



八瀬川は、あまり護岸工事が行われていない自然が多く残っている川です。キレイな川の中を歩きながら生き物を観察し、自然について学びました。

最後に網で捕まえた生き物を水槽に分類し、生態や相模川の水生生物の実状について熱心にお話しくださいました。参加者全員、びしょ濡れになりながら楽しい時間を過ごしました。(8/3)



小さな「内行花文鏡」をビスマス合金を使って作りました。

金属を溶かして、シリコンの鋳型に流し込む作業に少し緊張していましたが、5分待つて型からはずすと「おーっ！」と歓声が。ピカピカに磨き、鏡にうつる姿に感嘆の声。感動と驚きの時間となりました。(8/18)



市立博物館河尻清和学芸員にご指導いただき、相模川の石で『石図鑑』を作りました。

台風15号の後で河川敷の様子も変わりましたが、無事実施することができました。

「石はどこから来たのか。」「どうやってできるのか。」「悩んで、学んで、好きな石を沢山並べて、世界に1つのステキな図鑑が完成しました！(10/19)」

